製品番号 EPD-I041

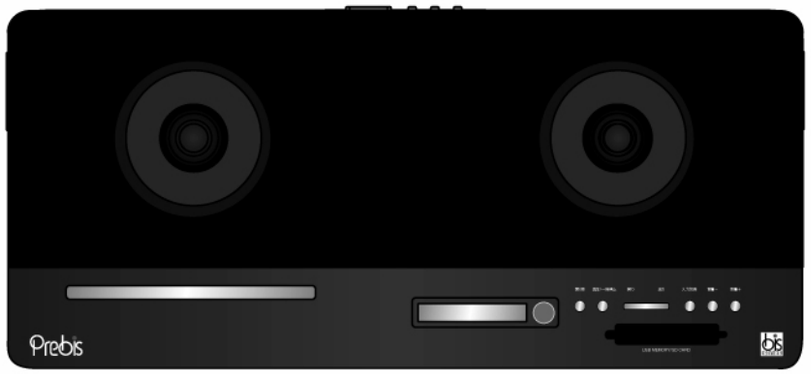
保証書別添付

Prebis

2.1ch iPod・DVD・ラジオプレーヤー 取扱説明書

このたびは、2.1ch iPod・DVD・ラジオプレーヤーをお買上げいただき、
まことにありがとうございました。

しっかり読んで使い方を覚えてください。





■この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全の注意」はご使用前に必ずお読み頂き、安全にお使いください。

■お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

確認
接続
設定
操作
必要なとき
故障かな？

本製品でお楽しみ頂ける主な機能について





※保存形式の異なったものや、著作権保護のかかったファイルには対応しておりません。

iPod充電機能
iPodを充電しながら音楽を再生可能。

AM・FMラジオチューナー
AM・FMラジオ局を受信。

DVDディスク再生
DVDディスク内に保存されたオーディオデータやビデオデータを再生。

ビデオCD再生
ビデオCD内に保存されている動画や音声を再生。

オーディオCD再生
CD-DA形式で保存されている音楽データを再生。

SDカード読込スロット
SDカードを読み込み、カード内に保存された音楽や画像を再生。

ワイヤレスリモコン
接続したiPodの操作も可能。

映像出力対応
DVD・VCD・iPodなどの映像出力に対応。

MPEG-4形式の動画データ再生に対応
MPEG-4形式で保存された動画を再生します。

AM・FMラジオチューナー
AM・FMラジオ局を受信。※本製品は強電界に対応しております。

MP3形式の音楽データ再生に対応
CD・DVD・SDカード・USBメモリーに保存されたMP3データを再生。

外部音声入力
外部音声入力端子に接続することで外部機器のスピーカーとしても使用できる。

もくじ

確　認

ページ

安全の注意 1〜3

警告……1〜2
注意……3

CD・DVDについて 4

iPodについて 5

USBメモリーについて/SDカードについて 6

本機で再生可能なフォーマット 7

付属品の確認/リモコンについて 8

設置の準備 9

本機の設置・お手入れ……9

各部のなまえ 10〜11

リモコンについて……10
本体について……11

接　続

ページ

接続の仕方 12〜17

AMループアンテナ……12
FMアンテナ……13
外部音声出力……13
外部同軸デジタル音声出力……14
外部光デジタル音声出力……14
本体とモニターを接続する……15
電源コードを接続する……16
正しく接続されているか確認する……16
iPodと付属のドックアダプターについて……17

ページ

ディスクを読み込む 18

オーディオCD・DVDビデオディスクの読込について……18
メニューが表示された時……18
オーディオCD……18

SDカード・USBメモリーの接続・読込 19

USB・SDカードの接続……19
USB・SDカードの読込……19

設　定

テレビタイプをかえる 20

テレビの画面の比率と映像のタイプに合わせる……20

初期設定を変更する 21〜25

言語……21
映像出力……22〜23
オーディオ……23〜24
視聴制限……24
その他……25

操　作

本体の基本操作 26

電源を入れる/切る……26
音量を調節する……26
サブウーファーの音量を調節する……26
低音を強調する……26
高音を強調する……26
左右の音量バランスをを調節する……26
音を消音(ミュート)する……26

本書の使用について

●本機の使用中、万一何らかの不具合により、再生ができなかった場合の内容(データ)の保証や損失、直接・間接の損害につきましては、当社の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

もくじ(つづき)

操　作(つづき)

ページ

ラジオを聞く 27

AM・FM放送を受信する……27

いろいろなファイル形式を再生する 28

オーディオCDを再生する……28
データCD・USBメモリー・SDカード内に保存されたデータの再生……28
MPEG-4ファイルの再生……28
MP3ファイルの再生……28
WMAファイルの再生……28
JPEGファイルの再生……28

再生言語を切り換える 29

音声を切り換える……29
字幕表示を切り換える……29

本機によるiPodの操作方法 30

iPodの読込……30
iPodの操作の仕方……30

iPodの映像出力について 31

iPod内の動画をモニターに映す……31
iPod内の写真をモニターに映す……31

再生中のいろいろな操作 32

■DVDビデオ=D ■VCD=V ■MP3=M3 ■JPEG=J ■WMA=W ■MPEG-4=M4 ■CDDA=C

OSDを表示する(D)……32
好きな順番に再生する(D・V)……32
好きな順番に再生する(M3・W・M4・C)……33
任意の区間を繰り返し再生する(D・V・M3・W・M4・C)……33

ページ

繰り返し再生する(D・V)……34
繰り返し再生する(C)……34
繰り返し再生する(M3・W・M4)……34
指定した位置を再生する(D・V)……35
指定した位置を再生する(M3・W・M4・C)……35
ステレオ/モノラルを切り換える(M3・W・M4・C)……36
スキップ戻る・送る(D・V)……36
スキップ戻る・送る(M3・W・M4・C)……36
再生を停止する(D・V・M3・W・M4・C)……36
1コマずつ再生する(D・V)……36
倍速で戻る(D・V・M3・W・M4・C)……37
倍速で送る(D・V・M3・W・M4・C)……37
低速で送る・戻る(D・V・M4)……37
アングルをかえる(D)……38
メニュー画面を表示する(D・V)……38
1つ前の選択画面に戻る(D・V)……38
タイトル画面を表示する(D)……38
拡大・縮小して表示する(D・V・M4・J)……38

必要なとき

用語解説 39

仕様について 39

故障かな？

故障かな？と思ったら 40〜41

Q&A(よくあるご質問) 42

保証とアフターサービス 42

本書の記載について

●本取扱説明書は製品開発に先がけて印刷されております。その後、操作性の向上、その他の理由により、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。
●説明の便宜上、文中のイラストや名称等が実際の製品や梱包箱等と異なる場合があります。

安全上の注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害または故障の原因を未然に防止する為に、必ずお守り頂く事を、次の様に説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告　**この表示欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。**

⚠ 注意　**この表示欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。**

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警 告

電源コードについて

電気コード・プラグを破損するようなことはしない
（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり引っ張ったり重い物を載せたり、束ねたりしない。）
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる。
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電気プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない。
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

濡れた手、電源プラグの抜き差しはしない　濡手禁止
感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない　接触禁止
感電のおそれがあります。

ご使用について

SDメモリーカードは乳幼児の手の届く所に置かない
誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に金属を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない
ショートや発熱により火災や感電の原因になります。

⚠ 警 告

ご使用について

分解、改造しない
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

分解禁止

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く
- **機器内部に金属や水などの液体、異物が入った時**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

リモコン用乾電池について

電池は誤った使い方をしない
- ⊕と⊖を逆に入れない。
- 乳幼児の手の届くところに置かない。
- 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使わない。
- ⊕と⊖を針金などで接続しない。
- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体、火の中に入れたりしない。
- 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない。
- 被覆のはがれた電池を使わない。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがが原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師に相談ください。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す
そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 注 意

設置・接続について

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

湯煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
●設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

●上に大きな物、重いものを載せない。
●壁や天井に取り付けない。
機器が落ちたり倒れたりしてけがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

機器表面や部品劣化するほか、火災の原因になることがあります。

iPod接続時にはドックアダプターを使用する

ドックアダプターを使用しないとiPodが正しく接続されない恐れがあります。

持ち運びついて

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

接続しているメディアを取り外す

接続した状態で移動させようとすると、引っかかったりして、けが・機器やメディアの故障の原因になることがあります。

ご使用について

必要以上に音量を上げすぎない

静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。隣近所への配慮を十分いたしましょう。

機器に乗らない

倒れたりして、けがの原因になることがあります。
●特にお子様にはご注意ください。

電池について

長時間使わない時は、リモコンから電池を取り出す。

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などをおこし火災や周囲破損の原因になることがあります。

CD・DVDについて

DVD VIDEO COMPACT disc DIGITAL AUDIO COMPACT disc DIGITAL VIDEO **マークが入ったものをご使用ください。**

特殊形状（ハート型や星型） CD・DVDはご使用にならないでください。上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用下さい。また、違法にコピーしたディスクや規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合がありますのでご使用にならないでください。



■次のディスクは本機では再生できません。

※DVDオーディオ、SACD、音楽CD（およびVCD、MP3、JPEGディスク）以外のCD、DVD-RAM。
※録画機器、録画状態やディスク製造上の問題で再生できないディスクがあります。

⚠取 扱 上 の 注 意

ディスクの取扱いについて

●ディスクを汚さないように、再生面には触れないでください。
●ディスクに紙やテープを貼らないでください。
●ディスクを取出しできない原因となります。
●ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。
●再生後はディスクケースに保管してください。



データの破損について

お客様の取扱いや、静電気、電気的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ディスクの掃除

再生前（光っている面）に、きれいなやわらかい布でディスクの中心から放射状に拭いてください。



結露について

結露が発生した場合、ディスクを本製品に挿入すると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、ディスク信号が読み取れず正常に動作しないことがあります。本製品はよく乾燥した状態でお使いください。
結露が発生してしまった場合は、本体の電源をいれたまま、乾燥のため数時間放置してください。

音のエチケット

楽しい音楽や、映画の音も、場合によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分いたしましょう。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

iPodについて

■使用できるiPodは?

本機に接続できる**iPod**は、底面に**Dock**(ドック)コネクタを装備ある機種です。
Dockコネクタのない機種に関しては、
外部音声入力接続により再生して下さい。
※外部音声入力接続時にはリモコンによるiPodの操作はできません。



本機対応iPod一覧 ※新しく発売される機種に関しては動作未確認となりますのでご了承下さい。

- iPod 1st+2nd generation 5GB・10GB・20GB
- iPod 3rd generation 10GB・15GB・20GB・30GB
- ※ iPod 4th generation 20GB・40GB
- ※ iPod photo 40GB・60GB
- ※ iPod U2 Special Edition 4th generationベース 20GB
- ※ iPod 5th generation 30GB・60GB
- ※ iPod U2 Special Edition 5th generationベース 30GB
- ※ iPod 5.5th generation 30GB・60GB
- iPod classic 80GB・160GB
- iPod mini 1st generation 4GB
- iPod mini 2nd generation 4GB・6GB
- iPod nano 1st generation 1GB・2GB
- iPod nano 2nd generation 2GB・4GB・8GB
- iPod nano 3rd generation 4GB・8GB
- iPod touch 8GB・16GB・32GB

※は本機にて映像出力に対応している機種になります。それ以外の機種は対応しておりませんのでご了承下さい。

■ソフトウェアのバージョンについて

本機のリモコンはiPodを操作できるように作られていますが、ソフトウェアのバージョンが古いと正常に動作しない場合がございます。
iPodのウェブサイトより画面の指示に従い、ソフトウェアを最新のバージョンに更新して下さい。

■データの破損について

お客様の取扱いや、静電気、電気的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、iPod内のデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

SDメモリーカードについて

本機で使用できるSDメモリーカードについて

- ●SDメモリーカード、miniSD™ カード(専用アダプターが必要です)が使えます。
- ●使用可能なSDメモリーカード
  8MB、16MB、32MB、64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB、3GB、4GBまでとなります。
- ●使用可能領域は表示容量より少なくなります。

※4GB以上のSDモリーカードに関しては動作致しませんので4GB以下の物をご使用ください。

SDメモリーカードの取扱いに関する注意

- ●小さなお子様の手の届く場所には、SDメモリーカードを絶対に置かないでください。誤って飲み込み、窒息する危険があります。万一飲み込んだ場合は直ちに医師の診断を受けてください。
- ●SDメモリーカードに貼られているラベルははがさないでください。また、新たにラベルやシールを貼らないでください。
- ●SDカードを取り外す際には本体の電源をお切りください。
- ●SDメモリーカードに鉛筆やペンで文字などを書かないでください。SDメモリーカードが故障したり、データが損傷する場合があります。
- ●SDメモリーカード内の大切なデータはパソコン等にバックアップを取っておくことをお勧めします。

※SDメモリーカード本体及びデータに関しては一切保証は致しません。

- ●煙が出たり、変なにおいがする等異常を感じたら、すぐにご使用をやめ、電源をお切りください。
- ●SDメモリーカードの分解や改造は絶対にしないでください。
- ●SDメモリーカードにはプラスチック、金属部品が含まれています。燃えると危険ですので、廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。
- ●SDメモリーカードを挿入したまま本体を移動しないでください。移動中に落としてしまったり、物に当てるなどしてしまった場合、破損したりけがをする原因となります。
- ●SDメモリーカードの保管場所に関して次のことに注意してください。故障の原因となります。

・湿気やホコリ、油煙の多い場所で使用、保管しないでください。
・直射日光の当たる場所やストーブやヒーターなどの熱源のそばで使用、保管しないでください。
・密閉された自動車の中(とくに夏期)などに長時間放置しないでください。

- ●SDメモリーカードの端子部に指や金属で触れないでください。故障の原因となります。
- ●SDメモリーカードに物を当てたり、投げる、落下させるといった強い衝撃を与えないでください。
- ●本機で再生できるSDカード内のファイルはJPEG、WMA、MP3、MPEG-4のいずれかで、DRMコピープロテクト(著作権保護)のかかっていないファイルのみです。

USBメモリーについて

本機で使用できるUSBメモリーについて

- ●本機で再生できるUSBメモリー内のファイルはJPEG、WMA、MP3、MPEG-4のいずれかで、DRMコピープロテクト(著作権保護)のかかっていないファイルのみです。
- ●本機とパソコンをUSBケーブルで接続して音楽ファイルや画像ファイルを再生することはできません。
- ●USBハブには対応しておりません。
- ●容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
- ●U3機能対応・指紋ロック・セキュリティ機能がついているUSBメモリー機器には対応しておりません。
- ●USBメモリー機器は、容量が4GB以下(1パーテイション)の物で動作します。

※4GB以上のUSBメモリー機器に関しては動作致しませんので4GB以下の物をご使用ください。

USBメモリーの取扱いに関する注意

- ●USBメモリーを取り外す際には電源をお切りください。
- ●重要データはあらかじめバックアップをお取りください。

※USBメモリー本体及びデータに関しては一切保証は致しません。

- ●USBメモリーの読み込み中にUSBメモリーを取り外すこと、フタを開けること、電源を切ることはやめてください。本体の故障、またはUSB内のデータ損傷の原因となります。
- ●USBメモリーの操作はリモコンでおこなってください。本体での操作をおこなうことはできません。

※USBメモリー本体及びデータに関しては一切保証は致しません。

- ●小さなお子様の手の届く場所には、USBメモリーを絶対に置かないでください。誤って飲み込み、窒息する危険があります。万一飲み込んだ場合は直ちに医師の診断を受けてください。
- ●煙が出たり、変なにおいがする等異常を感じたらすぐにご使用をやめ、電源をお切りください。
- ●USBメモリーの分解や改造は絶対にしないでください。
- ●USBメモリーにはプラスチック、金属部品が含まれています。燃えると危険ですので、廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。
- ●USBメモリーを挿入したまま本体を移動しないでください。移動中に落としてしまったり、物に当てるなどしてしまった場合、破損したりけがをする原因となります。
- ●USBメモリーの保管場所に関して次のことに注意してください。故障の原因となります。

・湿気やホコリ、油煙の多い場所で使用、保管しないでください。
・直射日光の当たる場所やストーブやヒーターなどの熱源のそばで使用、保管しないでください。
・密閉された自動車の中(とくに夏期)などに長時間放置しないでください。

- ●USBメモリーに物を当てたり、投げる、落下させるといった強い衝撃を与えないでください。

本機で再生可能なフォーマット

本機は下記のフォーマットに対応しています。

種類	メディア	ロゴ	内容	サイズ	再生時間
DVD ビデオ	DVD	DVD VIDEO	オーディオ＋ビデオ(動画)	12cm	約2時間(片面ディスク)
					約4時間(両面ディスク)
CDDA	オーディオCD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	オーディオ	12cm	約74分
				8cm	約20分
VCD	ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	オーディオ＋ビデオ	12cm	約74分(SVCD約40分)
				8cm	約20分
MP3	データDVD/データCD/USBメモリー	MP3-CD PLAYBACK MP3	オーディオ		
WMA	データDVD/データCD/USBメモリー		オーディオ		
MPEG-4	データDVD/データCD/USBメモリー		動　画		
JPEG	データDVD/データCD/USBメモリー		静止画		

DVDビデオ

DVDフォーラムで制定された、DVDに複数の映像、音声、字幕を記録するアプリケーションフォーマット。

CDDA

一般的なオーディオCD等に使用されているファイル形式です。この形式はビットレートが「1441kbps」に固定されています。cda形式は未圧縮音声形式なので音質を下げることなくお再生することができます。

ビデオCD

CD-ROMに動画や音声などを記録し、対応機器で再生するための規格。

MP3(オーディオCD)

元の音質を損なうことなく情報量を10分の1に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでDVD・CD・SDカード・USBメモリーに記録したMP3形式の音声を再生できます。

WMA

米国Microsoft Corporationで開発された音声圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルで同等の音質が実現できます。

MPEG-4

動画・音声全般をデジタルデータとして扱うための規格です。本機では、パソコンなどでDVD・CD・SDカード・USBメモリーに記録したMPEG-4形式の動画を再生できます。

JPEG

コンピュータなどで扱われる静止画像のデジタルデータを圧縮する方式のひとつ。

次のディスクは本機では再生できません

※DVDオーディオ、SACD、音楽CD(およびVCD、MP3、JPEGディスク)以外のCD、DVD-RAM。
※録画機器、録画状態やディスク製造上の問題(ファイラナイズ処理されていないもの等)で再生できないディスクがあります。

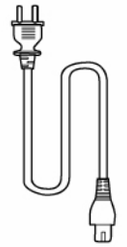
付属品の確認/リモコンについて

付属品の確認 ※全て揃っているか最初に確認してください。


□本体(1コ)


□取扱説明書(1冊)

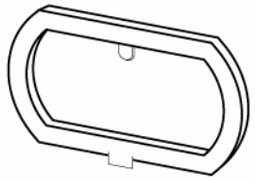

□リモコン(1コ)


□電源コード


□映像接続コード(1本)


□iPod接続部分フタ(1コ)


□保証書(1枚)

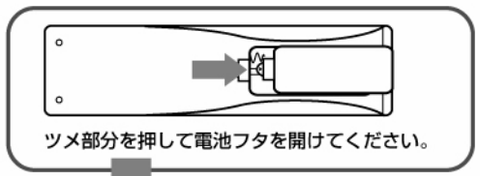

□AMループアンテナ(1コ)


□AMアンテナ台


□ドックアダプタ(8種類)


□FMアンテナ

リモコンについて





※リモコン送信部をリモコン受信部に向けて操作してください。



リモコン使用上のご注意

- 本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が狭くなることがあります。
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯等の強い光を当てないでください。
- 不要になった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

設置の準備

本機の設置・お手入れ

⚠

- 湿気やほこりの多い所
- 不安定な所
- 熱器具の近く
- OA機器や蛍光灯のすぐそば
- 風通しの悪い所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- テレビや他のアンプ, チューナーのそば
- 磁気を発生する所



⚠

①CD、SD、USB、iPodをすべて取る。
②電源を「OFF」にする。
③電源プラグを抜く。

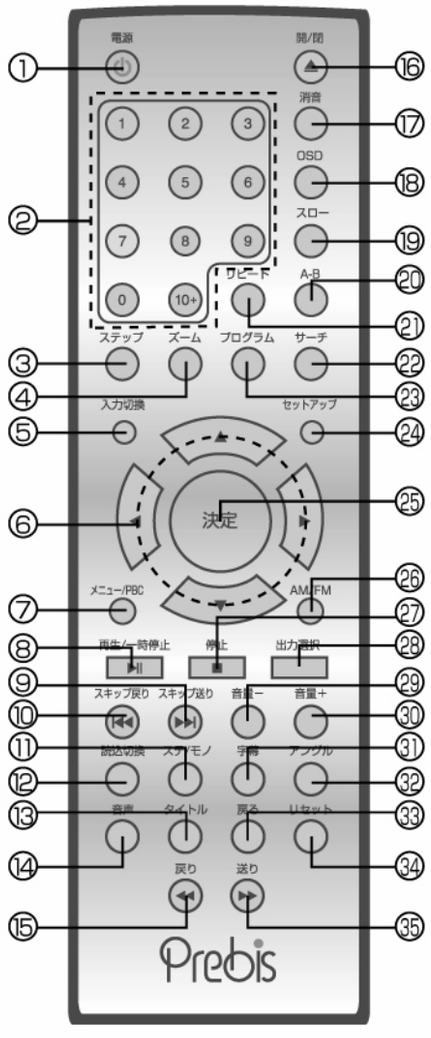
※上記操作を行わないと、故障の原因になります。

- 柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとから乾拭きしてください。
- シンナー・ベンジン・アルコール等の化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

⚠ 注意
- 本機は防磁設計ではありません。
  ※パソコンやテレビなどの近くに置く場合は、10cm以上離してください。
- 長期間使用しないときは、節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

各部のなまえ

リモコンについて



① **電源ボタン**
電源のON・OFFを行います。

② **数字キーボタン**
数字の入力を行います。

③ **ステップボタン**
1コマずつのステップ再生を行います。

④ **ズームボタン**
ズームの切り換えを行います。

⑤ **入力切換ボタン**
入力ソースの切り換えを行います。

⑥ **選択変更ボタン**
メニュー画面等での選択項目を変更します。

⑦ **メニュー/PBCボタン**
メニュー画面の切り換えを行います。

⑧ **再生/一時停止ボタン**
メディアの再生／一時停止を行います。

⑨ **スキップ送りボタン**
チャプター・曲・チャンネル単位で送ります。

⑩ **スキップ戻りボタン**
チャプター・曲・チャンネル単位で戻ります。

⑪ **ステレオ／モノラルボタン**
ステレオとモノラルの切り換えを行います。

⑫ **読込切換ボタン**
DVD/USB/SDの切り換えを行います。

⑬ **タイトルメニューボタン**
タイトルメニューに戻ります。

⑭ **音声切換ボタン**
再生音声の切り換えを行います。

⑮ **戻りボタン／スキャンー**
倍速戻り再生の切り換え、
ラジオの選局を行います。

⑯ **開／閉ボタン**
ディスクの出し入れを行います。

⑰ **消音ボタン**
音声を消音します。

⑱ **OSDボタン**
OSDメニューを表示します。

⑲ **スロー再生ボタン**
低速再生の切り換えを行います。

⑳ **A-Bリピート再生ボタン**
任意の区間を繰り返し再生します。

㉑ **リピート再生ボタン**
リピート再生の切り換えを行います。

㉒ **サーチボタン**
サーチ項目を表示します。

㉓ **プログラム再生ボタン**
DVD・VCDのプログラム設定画面を表示します。

㉔ **セットアップボタン**
セットアップメニューを表示します。

㉕ **決定ボタン**
選択項目の決定を行います。

㉖ **AM/FM切換ボタン**
AM局とFM局を切り換えます。

㉗ **停止ボタン**
再生を停止します。

㉘ **出力選択ボタン**
音声出力設定を個別に切り換えます。

㉙ **音量－ボタン**
音量を小さくします。

㉚ **音量＋ボタン**
音量を大きくします。

㉛ **字幕切換ボタン**
再生字幕言語を切り換えます。

㉜ **アングル切換ボタン**
アングルの切り換えを行います。

㉝ **戻るボタン**
選択項目の一つ前に戻ります。

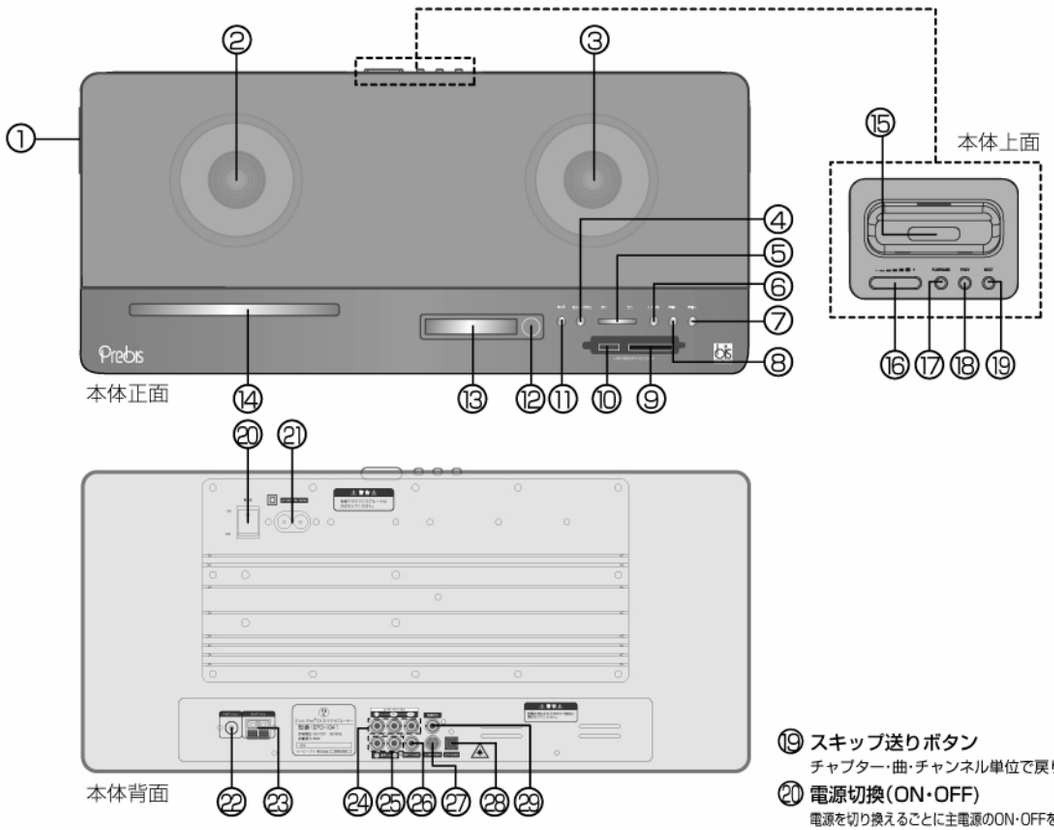
㉞ **リセットボタン**
長押しすると初期設定状態に戻ります。

㉟ **送りボタン／スキャン+**
倍速送り再生の切り換え、
ラジオの選局を行います。

本書の説明について
リモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本 体のボタンもお使いいただけます。

各部のなまえ

本体について



① サブウーファー(左横面)
主に低音域を出力します。

② 左スピーカー
左音声を出力します。

③ 右スピーカー
右音声を出力します。

④ 再生／一時停止ボタン
メディアの再生／一時停止を行います。

⑤ スキップ戻り・送りボタン
チャプター・曲・チャンネル単位で戻り・送ります。

⑥ 入力切換ボタン
入力ソースの切り換えを行います。

⑦ 音量大ボタン
音量を大きくします。

⑧ 音量小ボタン
音量を小さくします

⑨ SDカードスロット
SDカードを差し込みます。

⑩ USBスロット
USBメモリーを接続します。

⑪ 開閉ボタン
ディスクの出し入れを行います。

⑫ リモコン受光部
こちらに向けてリモコンを操作して下さい。

⑬ 液晶ディスプレイ
操作に合わせて表示がかわります。

⑭ ディスクスロット
ディスクを差し込んで下さい。

⑮ iPod接続部分
iPodを接続して下さい。

⑯ 音量小大調節ボタン
音量の小・大を調節します。

⑰ 再生/一時停止ボタン
メディアの再生／一時停止を行います。

⑱ スキップ戻りボタン
チャプター・曲・チャンネル単位で戻ります。

⑲ スキップ送りボタン
チャプター・曲・チャンネル単位で戻ります。

⑳ 電源切換(ON・OFF)
電源を切り換えることに主電源のON・OFFを切り換えます。

㉑ 電源コード差し込み口
付属の電源コードを接続して下さい。

㉒ FMアンテナ接続端子
付属のFMアンテナを接続して下さい。

㉓ AMアンテナ接続端子
付属のAMアンテナを接続して下さい。

㉔ コンポーネント映像出力端子
コンポーネント映像出力に対応しています。

㉕ 音声入力端子
外部AV機器の音声入力に対応しています。

㉖ 同軸デジタル音声出力端子
同軸デジタル音声出力に対応しています。

㉗ S-VIDEO映像出力端子
S-VIDEO映像出力に対応しています。

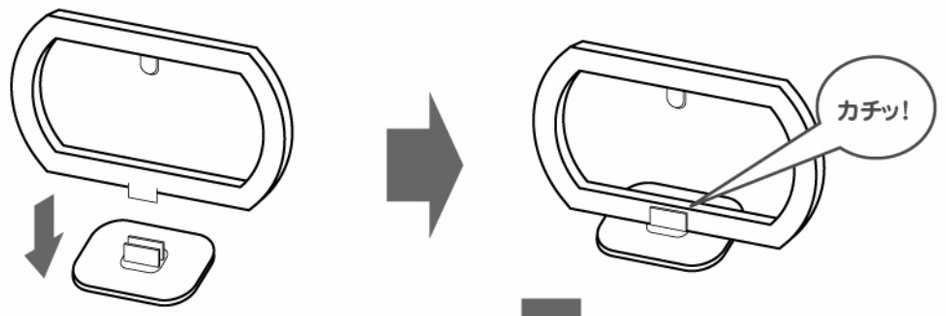
㉘ 光デジタル音声出力端子
光デジタル音声出力に対応しています。

㉙ 映像出力端子
映像出力に対応しています。

接続の仕方

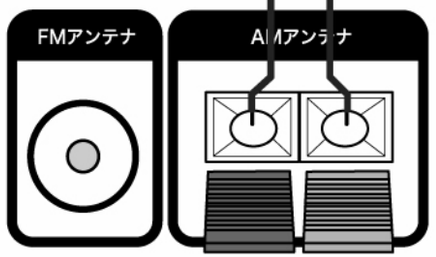
AMループアンテナ

1 右の図のように**AMループアンテナ土台の溝**へ差し込みます。



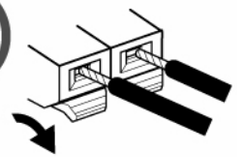
2 **AMループアンテナのコード**を本体の**AMアンテナ接続端子**に差込みます。

本体背面





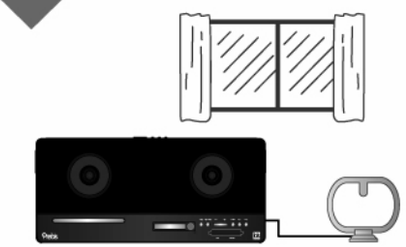
レバーを下げてAMループアンテナのコードを奥まで差込んでください。



※アンテナコードの先端のビニールは、取り除いてから接続してください

3 つないだ後、感度の良い場所(窓際など)へセットしてください。

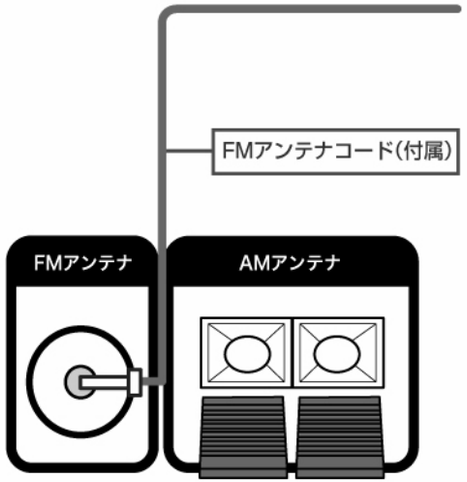
※鉄筋属モルタルの住宅では受信感度の悪い場合があります。
※本製品は強電界に対応しております。



接続の仕方(つづき)

FMアンテナ

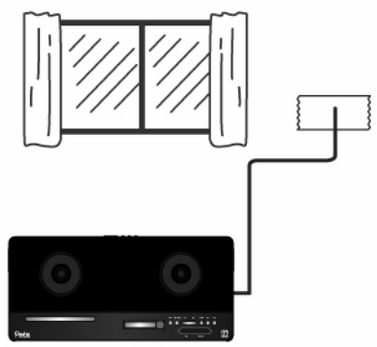
1 本体側の**FMアンテナ接続端子**に**FMアンテナコード**を差込みます。



本体背面

2 つないだ後、感度の良い場所(窓際など)へセットしてテープ等で止めます。

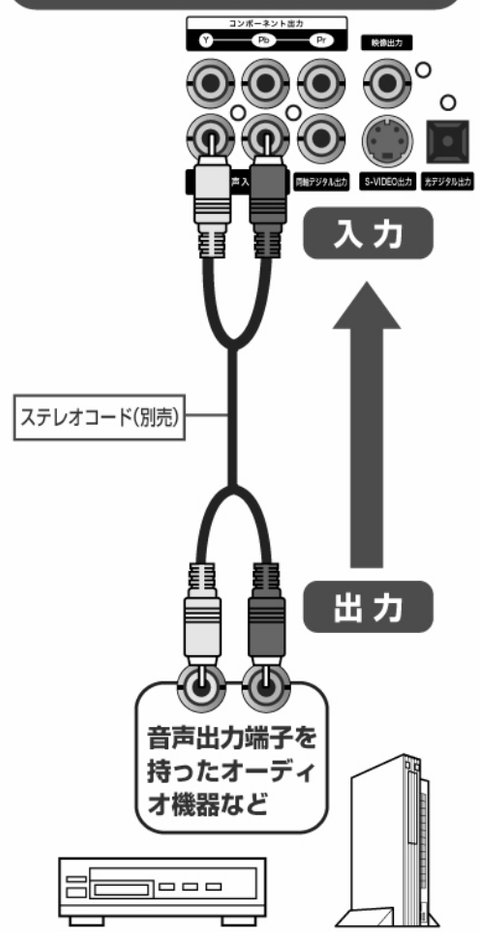
※鉄筋属モルタルの住宅では受信感度の悪い場合があります。
※本製品は強電界に対応しております。



外部音声入力

1 本体側の**音声入力端子**と、**別売りのゲーム機やAV機器等の音声出力端子**を接続してください。

本体背面



⚠注意

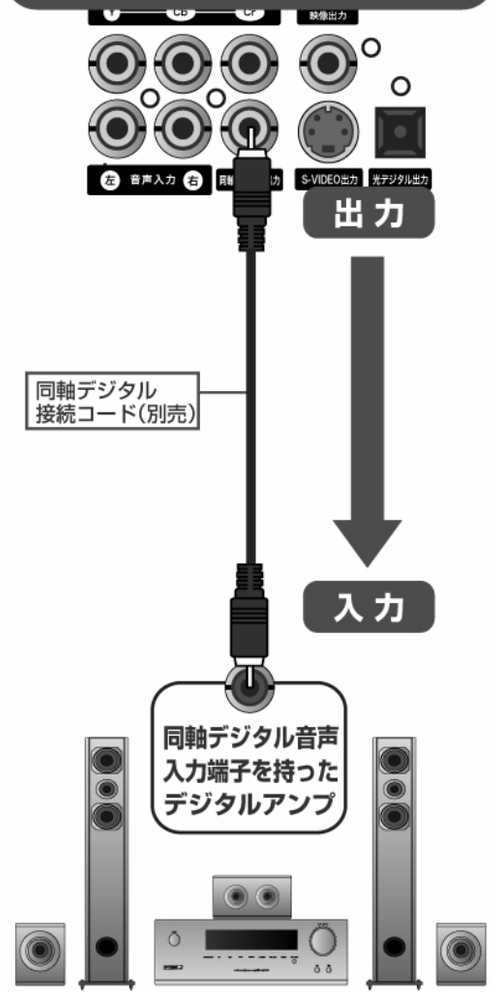
外部機器の音声出力が小さい場合、本体側の音量を大きくしても十分な音量を得られない場合があります。

接続の仕方(つづき)

外部同軸デジタル音声出力

1 本体側の**同軸デジタル音声出力端子**と別売りの**同軸デジタル対応アンプ**を接続してください。

同軸デジタル音声出力端子(本体背面)

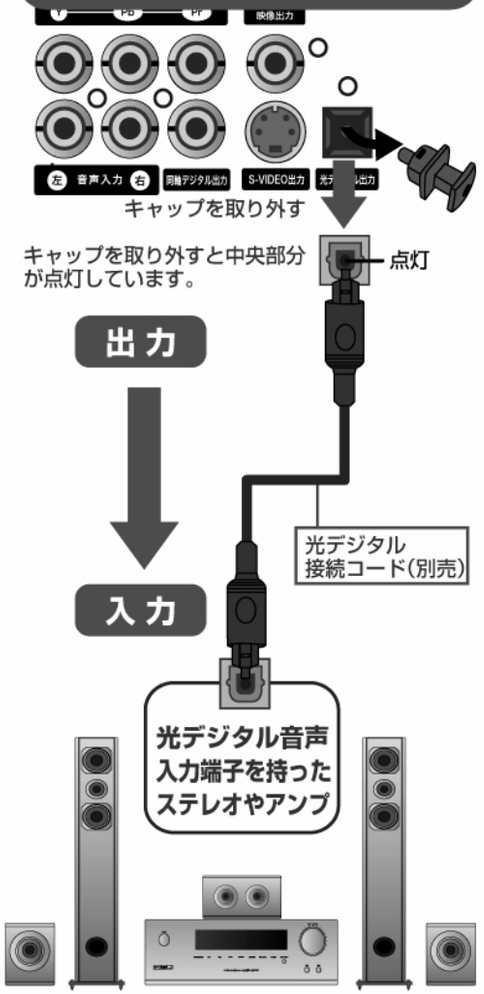


⚠注意 5.1チャンネルで音声をお楽しみいただくためにはオーディオセットアップ設定(23P)をお読みください。

外部光デジタル音声出力

1 本体側の**光デジタル出力端子**と、**別売りのアンプ**または**スピーカーの光デジタル入力端子**を接続してください。

光デジタル音声出力端子(本体背面)



⚠注意 5.1チャンネルで音声をお楽しみいただくためにはオーディオセットアップ設定(23P)をお読みください。

接続の仕方(つづき)



本体とモニターを接続する

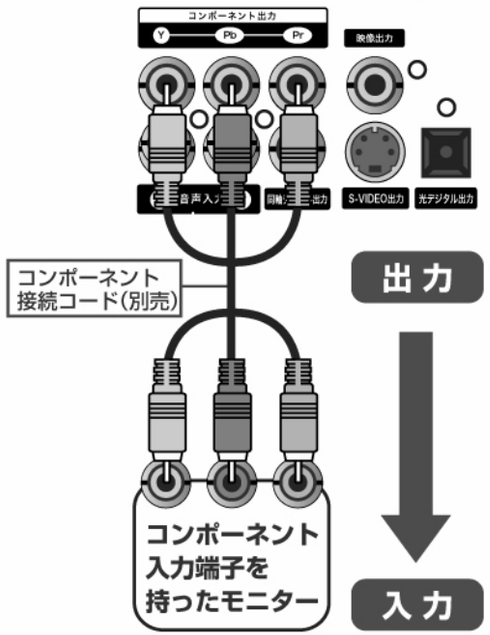
1 本体側の**映像出力端子**とモニター側の**映像入力端子**を接続してください。



映像出力端子 (本体背面)

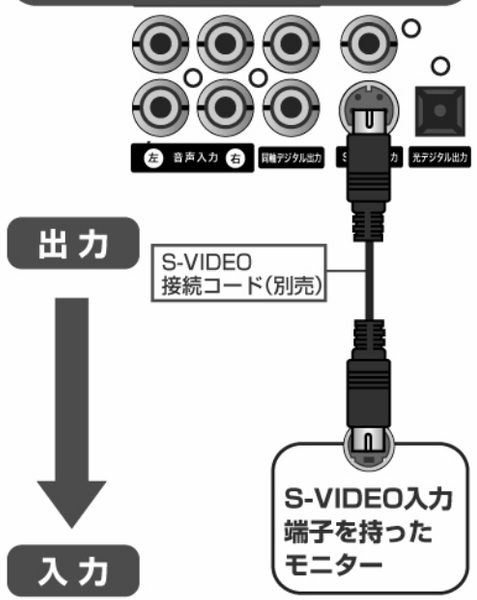
1 本体側の**コンポーネント出力端子**とモニター側の**コンポーネント入力端子**を接続してください。

コンポーネント出力端子 (本体背面)



1 本体側の**S-VIDEO出力端子**とモニター側の**S-VIDEO入力端子**を接続してください。

S-VIDEO出力端子 (本体背面)



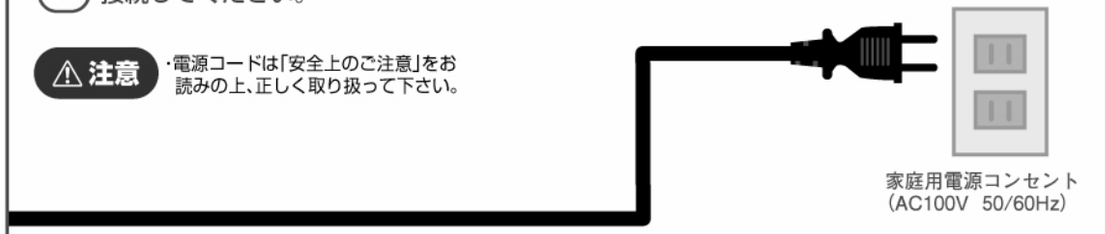
⚠ 注意
※モニターによりコンポーネント入力・S-VIDEO入力端子が無いものもあります。
※本製品とテレビ・アンプ等の電源がOFFになっている事を確認後接続をおこなってください。
※コンポーネント出力と映像出力またはS-VIDEO出力を同時に使用しないでください。

接続の仕方(つづき)

電源コードを接続する

1 **電源プラグ**は**全ての接続が終わってから**接続してください。

⚠ 注意 ・電源コードは「安全上のご注意」をお読みの上、正しく取り扱って下さい。



正しく接続されているか確認する

1 テレビまたはモニタの電源を入れ、**本機を接続した外部入力に切り換える**(テレビ・モニタ用リモコンにて外部入力のビデオ1 などに設定変更する)。



一般放送表示画面　　外部入力表示画面

2 **本体の主電源**を入れ、**リモコンの ⏻ ボタン**を押してを**本体の電源をオン**にすると起動画面が表示されます。

※表示されない場合はコードの接続が正しいか確認し、映像出力設定より映像出力の設定を変更してください。



起動画面

接続の仕方

iPodと付属のドックアダプターについて

お使いのiPodのモデルを確認して、以下の説明に従って、適切なドックアダプターをセットして下さい。

1 ご使用のiPodに合ったドックアダプターを選びます。

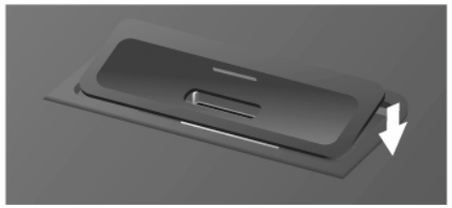
■ドックアダプターの裏に名前が明記してあります。

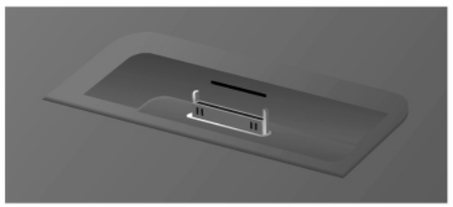
アダプター明記の名前	iPod種類
10G-30G	3G iPod(10GB.15GB.20GB) 4G・iPod(20GB) U2 iPod(20GB)・iPod Photo(20GB.30GB) Color U2 iPod(20GB)・Color Display(20GB)
30G video	5G iPod with video(30GB)・U2 iPod with video Classic 80G/touch
40G-60G	3G iPod(30GB.40GB)・4G iPod(40GB) iPod Photo(40GB.60GB)・Color Display(60GB)
60G video	5G iPod with Video(60GB.80GB)
nano	iPod nano
2G nano	iPod nano 2nd Generation
3G nano	iPod nano 3rd Generation
mini	iPod mini

上記に該当しない種類の場合はiPodに付属しているアダプターを差し込んで下さい。

2 本製品のドックにアダプターを差し込みます。※iPod接続部分フタを取り外して下さい。

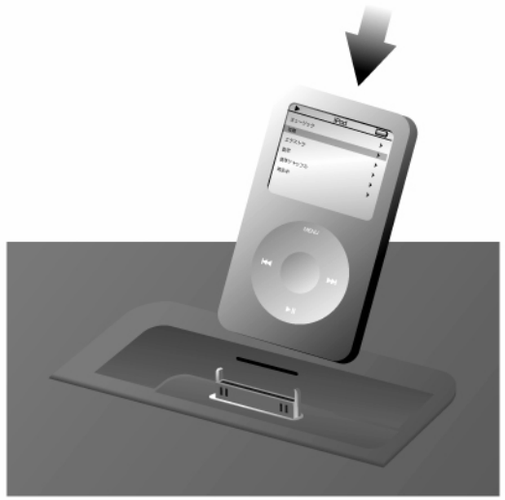
■ アダプターの先端をドックに合わせ、小さく「カチッ」と音がしてアダプターが正しく差し込まれるまで、アダプタの後ろ部分をドックに押し込みます。





※ドックアダプターを取り付けた状態

3 本製品のドックにアダプターを差し込みます。



互換性のあるiPod ソフトウェア

ご使用のiPod本製品またはリモコンで動作しない場合、ソフトウェアのアップデートにより問題が解決する場合があります。
アップル社のWebサイトで最新のiPodソフトウェアがダウンロード可能かご確認下さい。
iPodは、アップルコンピュータ株式会社の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

⚠ 注意

■iPodを差込んだまま移動はさせないで下さい。差込んだiPodをぶつけたり、押したりしないよう注意して下さい。
■必ずiPodに付属しているドックiPod付属品を使用してください。
■本製品の電源を入れて、iPodモードにすると自動的に充電します。

ディスクを読み込む

オーディオCD・DVDビデオディスクの読込について

1 テレビの電源を入れ、**本体**との**接続に合わせて**テレビの**入力を切り換える。**



2 電源 **ボタン**を押して本体の**電源**を入れる。



「DISK」と表示されます。

3 入力切換 **ボタン**を押して**DISKモード**にしてください。

4 **ディスクスロット**に**ディスク**を**セット**して下さい。

メニューが表示された時

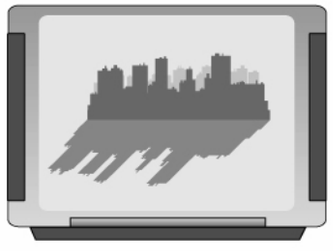
市販のDVDなどを入れて、メニュー画面が表示されたら、画面に従って操作してください。

1 テレビの電源を入れ、**本体との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。**

2 で項目を選んでください。



3 決定 を押して**再生**してください。



オーディオCD

音楽CDを入れると、テレビ画面上に収録曲情報が表示され、自動的に再生が始まります。

1 テレビの電源を入れ、**本体との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。**

※オーディオCDの再生はモニターに表示しなくても行なうことができます。



2 **オーディオCD**を入れると、画面上に**収録曲情報**が表示され、自動的に再生が始まります。

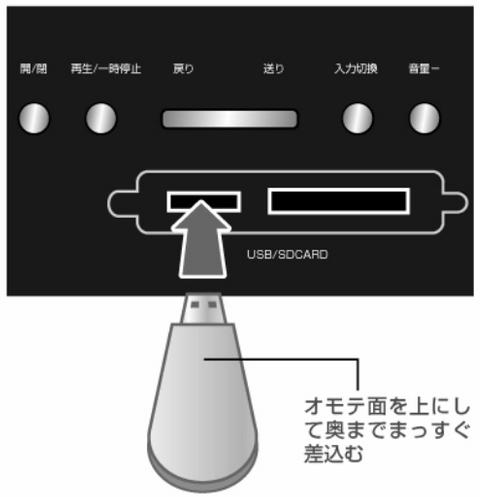
※MP3形式で保存されているものに関しては表示が異なります。



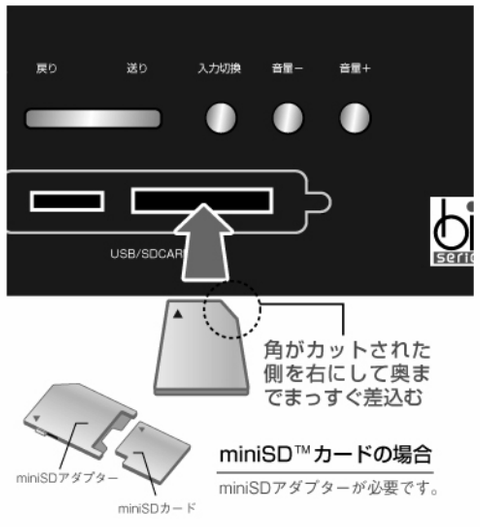
SDカード・USBメモリーの接続・読込

USB・SDカードの接続

USB入力端子 (本体前面)



SDカード入力端子 (本体前面)



⚠注意 ・データの読込み中や再生中にはショックを与えたりカードの出し入れは行なわないでください。

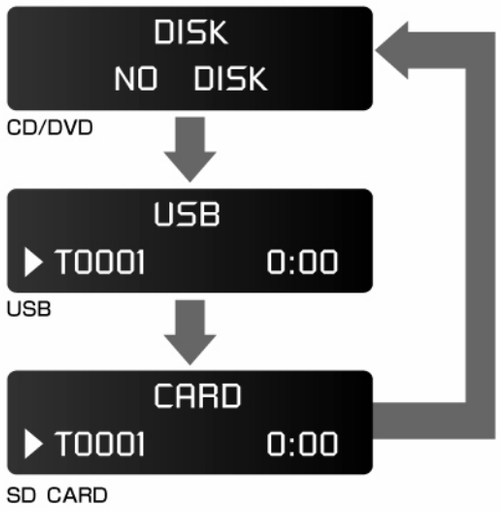
USB・SDカードの読込

1 入力切換 ◯ **ボタン**を押して**DISKモード**にしてください。

2 読込切換 ◯ **ボタン**を押して**読み込むメディア**に切り換えてください。

※メディアの再生中は読込切換ボタンが動作しません。停止ボタンを押してから切り換えて下さい。

※以下の順で読み込むメディアが切り換わります。



⚠注意

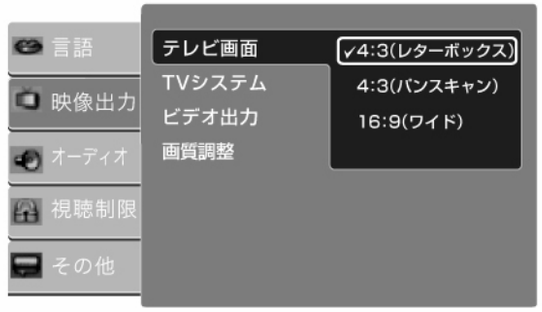
- USBメモリーとSDカードの取扱いについては６ページをご覧の上で行なってください。
- 切り換え時には必ず再生を停止して下さい。再生中は読込ボタンは動作しません。

テレビタイプをかえる

テレビ画面の比率と映像のタイプに合わせる

操作方法については別途、「初期設定を変更する」をご覧下さい。

テレビのサイズはワイド(16:9)ですか？従来サイズ(4:3)ですか？



4:3(レターボックス)
従来サイズのテレビと接続して、レターボックス方式(下記)でみたいときに選択します。

4:3(パンスキャン)
従来サイズのテレビと接続して、パンスキャン方式(下記)で見たいときに選択します。この設定はディスクが対応していないとできません。

16:9(ワイド)
ワイド(16:9)テレビと接続したときに選択します。

お使いのテレビに合わせたテレビ画面の設定

お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の「テレビ画面」の設定をして下さい。

お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき



本機の設定	映像の見え方
4:3 (レターボックス)	16:9の映像 / 4:3の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像 / 4:3の映像

お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき

本機の設定	映像の見え方
16:9(ワイド)	16:9の映像 / 4:3の映像

※画面の比率の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケット等で確認して下さい。

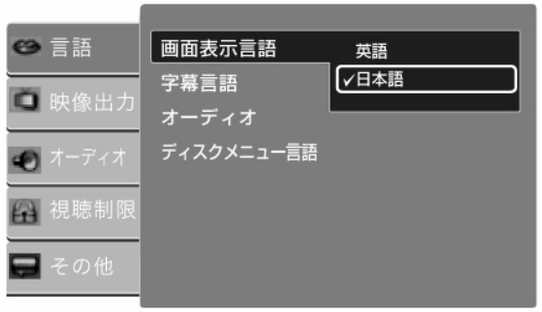
初期設定を変更する

1 セットアップ ボタンを押してセットアップ(初期設定)画面を呼び出します。

2 ◀▲▶▼ で**変更したい項目**を選び、決定 を押してください。

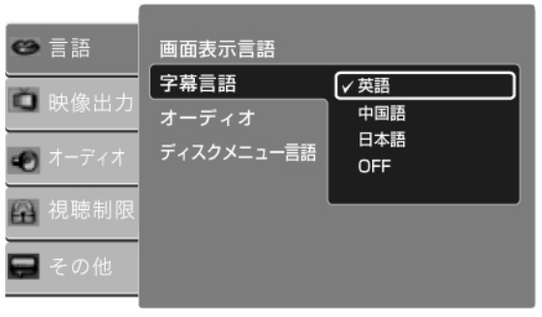
言語

画面表示言語



設定メニューなどに**表示される言語**を設定することができます。

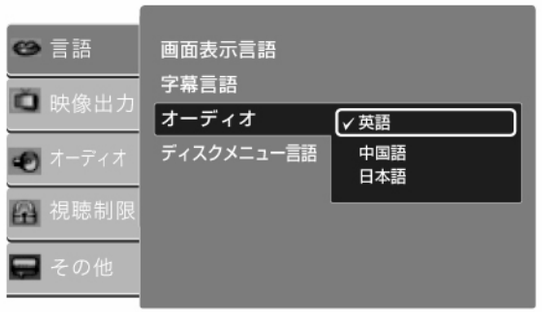
字幕言語



本機が対応している字幕言語の一覧を表示します。

⚠注意 ここでは字幕言語の変更を行なうことができません。

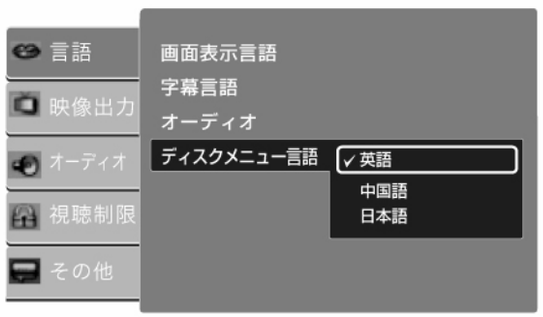
オーディオ



本機が対応しているオーディオ言語の一覧を表示します。

⚠注意 ここではオーディオ言語の変更を行うことができません。

ディスクメニュー言語



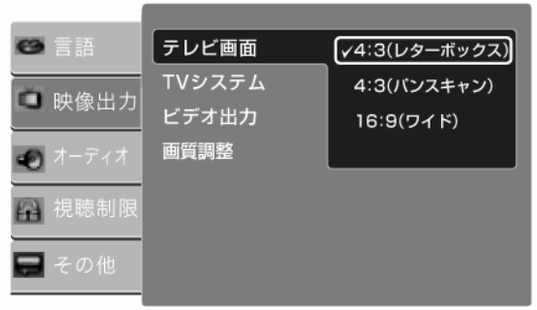
本機が対応しているメニュー言語の一覧を表示します。

⚠注意 ここではメニュー言語の変更を行なうことができません。

初期設定を変更する(つづき)

映像出力

テレビ画面



おつなぎのモニターに合わせて**設定**してください。

⚠注意 詳しい接続方法に関しては別途20Pをご参照ください。

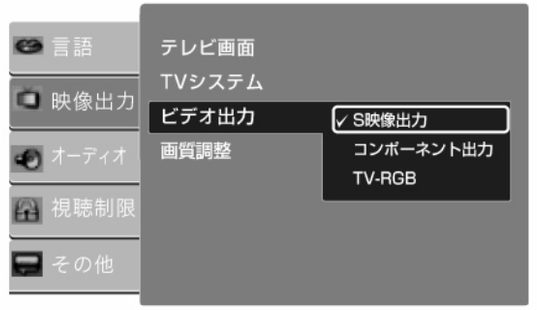
TVシステム



テレビ放送方式は**NTSC**に設定されています。

⚠注意 NTSCを変更すると表示形式が異なり画面表示ができなくなります。通常のご使用に関してはNTSC方式でお使いください。

テレビ画面



おつなぎの**出力端子**に合わせて**設定**してください。

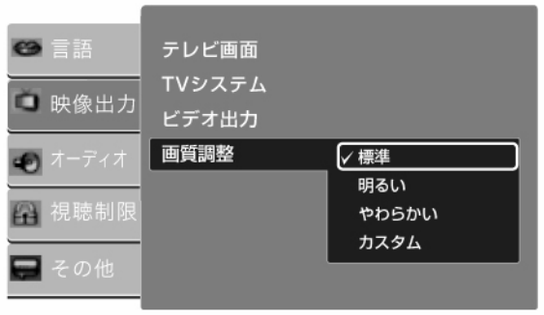
出力端子の種類	本体側の設定
S-VIDEO 出力端子	S映像出力
コンポーネント 出力端子	コンポーネント出力
映像出力端子	TV-RGB

⚠注意 出力端子の接続方法に関しては別途15Pをご参照ください。

初期設定を変更する(つづき)

映像出力(つづき)

画質調整



画面表示の**画質**を**調整**します。

標準 標準的な画質になります。

明るい 明るさを強調した画質になります。

やわらかい 彩度をおさえたやわらかい色調の画質になります。

カスタム お好みの画質に調整することができます。

◀ を押すと選択している項目を弱めます。

▶ を押すと選択している項目を強調します。

明るさ ― 0

画面表示の明るさを調整します。

コントラスト ― 0

画面表示のコントラストを調整します。

色合い ― 0

画面表示の色合いを調整します。

色調 ― 0

画面表示のトーンを調整します。

オーディオ

デジタル出力



デジタル出力の**ON・OFF**を行います。

※同軸デジタル・光デジタル接続時には「ALL」に設定して下さい。

ナイトモード



ナイトモードの**ON・OFF**を行います。

※深夜等に、低音量で立体感のあるサラウンドをお楽しみいただけます。

初期設定を変更する(つづき)

オーディオ(つづき)

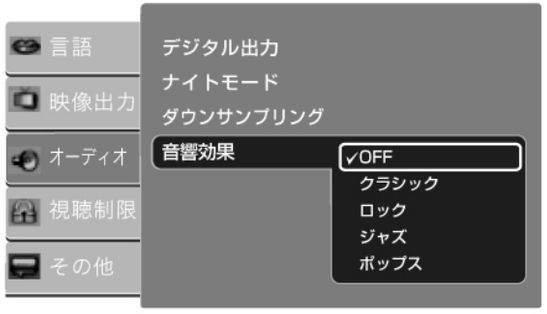
ダウンサンプリング



ダウンサンプリングの**ON・OFF**を行います。

※より低い周波数で再サンプリングします。

音響効果



サラウンド効果を**擬似的**に再現することができます。

クラシック

コンサートホールのように音に広がりを持たせます。

ロック

メリハリのある音のタッチを表現します。
ハードロックミュージックに最適。

ジャズ

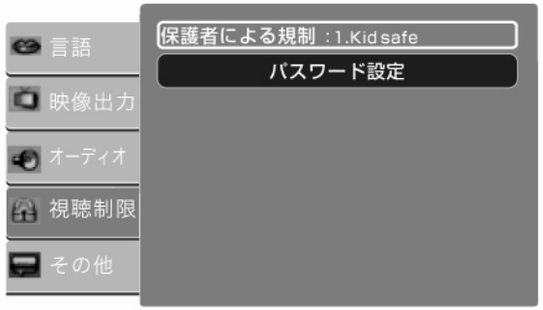
中低域をやや持ち上げ高域を抑えたジャズサウンド。

ポップス

低域をカットし中高域をやや強調したさわやかなポップス向けのサウンド。

視聴制限

保護者による規制

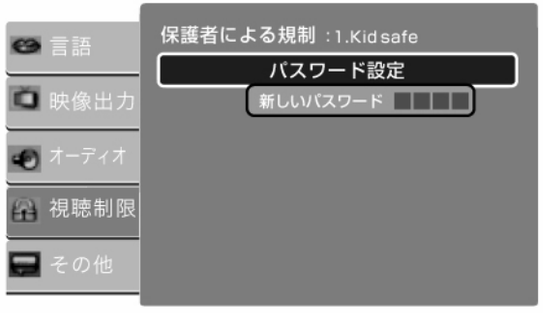


DVDの**視聴年齢**を**制限**することができます。

暴力シーンなどを含むDVDビデオの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります(ディスクジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7のディスクを再生することはできません。レベル7のディスクを再生するにはあらかじめレベルを7以上に設定しておく必要があります。

⚠注意 視聴制限を変更する場合には暗証番号の入力が必要となります。出荷時は「8888」に設定されています。

パスワード設定



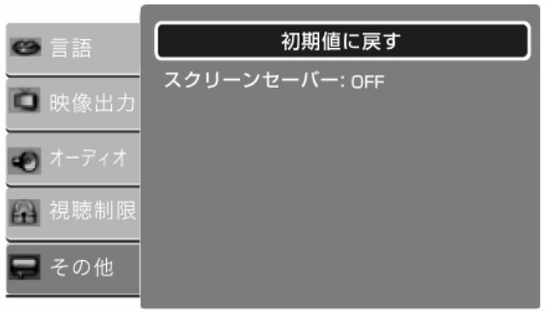
パスワードを変更することができます。

⚠注意 工場出荷時のパスワードは「8888」に設定されています。暗証番号を忘れてしまったときはこのパスワードを入力して再度設定して下さい。

初期設定を変更する(つづき)

その他

初期値に戻す

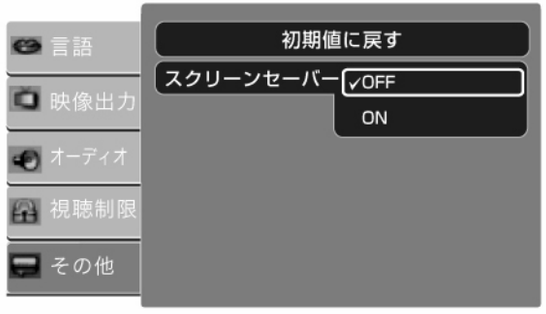


設定値を**工場出荷時**の状態に戻します。

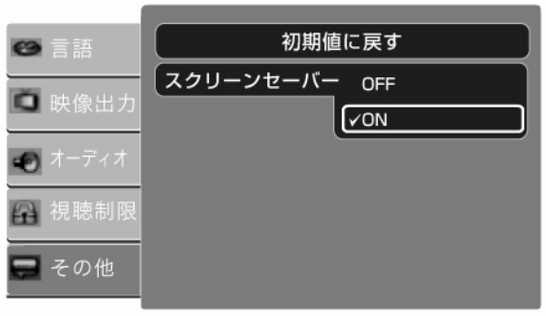
リセット
ボタンを**長押し**しても**工場出荷時の状態**に戻すことができます。

⚠ 注意 初期化すると、パスワード以外の記憶していたすべての設定が同時に消去されます。初期化する前は十分にご注意ください。

スクリーンセーバー



DISKモード待ち受け時の**スクリーンセーバーの設定**の「ON」・「OFF」を切り換えます。



スクリーンセーバー「ON」時にはDVDロゴマークが画面上を移動します。



●スクリーンセーバー起動画面

本体の基本操作

操作方法は主にリモコンを用いた説明をしています。本体にもリモコンと同じ表示がある場合、同様を行なうことができます。



電源を入れる/切る

電源
ボタンを押してください。

※本体背面の主電源をONにしてから電源ボタンを押して下さい。
※長時間使用されないときは主電源をお切り下さい。

音量を調節する

音量+ 音量−
ボタンを押してください。
本体の**音量調節ボタン**でも調節できます。

DISK
VOLUME 00
「VOLUME」と表示されます。

音量+ **音量**が**大きく**なります。
音量− **音量**が**小さく**なります。

※0〜32までの範囲で設定できます。

サブウーファーの音量を調節する

出力選択
ボタンを**1回**押してください。

DISK
SUBWOOFER 00
「SUBWOOFER」と表示されます。

音量+ **音量**が**大きく**なります。
音量− **音量**が**小さく**なります。

※0〜15までの範囲で設定できます。

低音を強調する

出力選択
ボタンを**2回**押してください。

DISK
BASS 0
「BASS」と表示されます。

音量+ **低音**が**強く**なります。
音量− **低音**が**弱く**なります。

※−14〜+14までの範囲で設定できます。
※低音を強くしたときは高音は弱めに設定して下さい。

高音を強調する

出力選択
ボタンを**3回**押してください。

DISK
TREBLE 0
「TREBLE」と表示されます。

音量+ **高音**が**強く**なります。
音量− **高音**が**弱く**なります。

※−14〜+14までの範囲で設定できます。
※高音を強くしたときは低音は弱めに設定して下さい。

左右の音量バランスを調節する

出力選択
ボタンを**4回**押してください。

DISK
BALANCE 0
「BALANCE」と表示されます。

音量+ **右スピーカー**を**強調**した出力となります。
音量− **左スピーカー**を**強調**した出力となります。

※設定値が0の時は左右対称の出力となります。

音を消音(ミュート)する

消音
ボタンを押してください。

DISK
MUTE
「MUTE」と表示されます。

※消音を解除したい時は再度消音ボタンを押して下さい。

ラジオを聞く

FM放送・AM放送を受信する ※本製品は強電界に対応しております。



1 入力切換 **ボタン**を押して**ラジオモード**にしてください。



2 FM/AM **ボタン**を押して**AM局**か**FM局**を選局してください。





3 戻り 送り **ボタン**を押してお好みの**周波数**に合わせてください。

※ボタンを長押しすると放送局がある場所で止まります。
受信できる放送局が見つからない場合は止まりません。

お好みの放送局を登録する

4 戻り 送り **ボタン**を押してお好みの**周波数**に合わせてください。

5 1～10+ **ボタン**を**長押し**すると、**長押ししたチャンネル番号**に**登録**されます。



※最大40局まで記憶させることができます。

※すでに周波数が登録されているチャンネルの場合は元の登録は消去されます。

※10チャンネル以降に登録する場合には10+ボタンを数回長押しして10桁番号を選び、その次に一桁番号を数回長押しして希望のチャンネルを選んで下さい。

記憶させた放送局を呼び出す

6 スキップ戻り スキップ送り **ボタン**、または 1～10+ **ボタン**でお好みの**チャンネル番号**を選んでください。

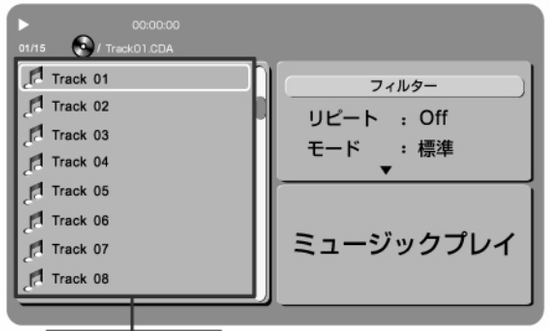
⚠注意 受信感度が悪い場合は12・13Pを参照してアンテナの位置を変向してください。

いろいろなファイル形式を再生する

オーディオCDの再生

1 ▲▼ で**再生したいトラック**を選んでください。

2 決定 を押して**再生**してください。



収録トラック番号

データCD・USBメモリー・SDカード内に保存されたデータの再生

1 ▲▼ で**フォルダ**を選んください。

2 決定 を押して ▲▼ で**ファイル**を選んでください。

3 決定 を選んで**再生**してください。



収録フォルダ名

※データCD再生時



収録ファイル名

※データCD再生時

MPEG-4ファイルの再生

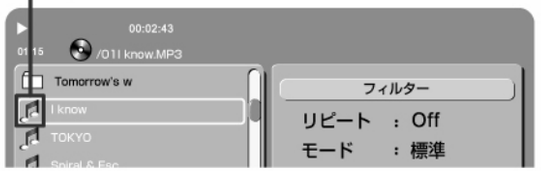
★マークのついたファイルを選んで下さい。



※著作権保護のかかったファイルは再生できません。

MP3ファイルの再生

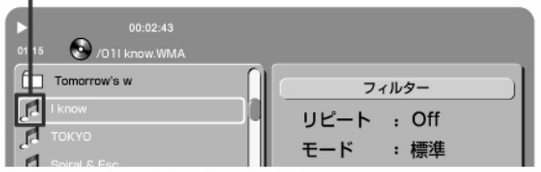
♪マークのついたファイルを選んで下さい。



※著作権保護のかかったファイルは再生できません。

WMAファイルの再生

♪マークのついたファイルを選んで下さい。



※著作権保護のかかったファイルは再生できません。

JPEGファイルの再生

マークのついたファイルを選んで下さい。



※それぞれのフォーマットの詳細につきましては別途7ページをご参照下さい。

再生言語を切り換える

音声を切り換える

・再生中のディスクに複数の音声データが含まれている場合、
音声を切り換えることができます。
・電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

ディスクの再生中に操作を行って下さい。

音声
ボタンを押して切り換えます。押すごとに内容により**再生言語**が変わります。



(例)複数の音声言語を含むディスクの場合

[1	英語	□□2CH]
[2	日本	□□2CH]
[3	英語	□□5.1CH]
[4	日本	□□5.1CH]
	言語	音声属性

ディスクに5種類の言語属性が含まれる場合

字幕表示を切り換える

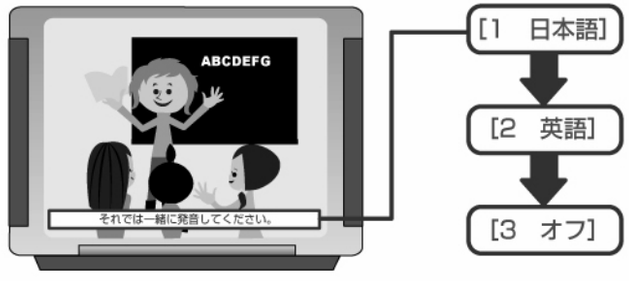
・字幕データが複数記録されたディスクに働きます。

ディスクの再生中に操作を行って下さい。

1 字幕
ボタンを押して切り換えます。押すごとに記録内容により**字幕**が変わります。



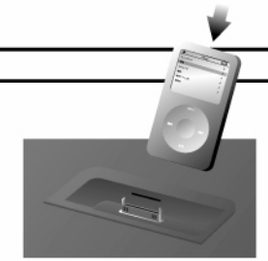
(例)複数の字幕言語を含むディスクの場合



⚠注意 ※字幕が記録されていないディスクでも字幕番号が表示されることがあります。

本機によるiPodの操作方法

iPodの読込



1 本体に**iPod**を接続して下さい。
※詳細については17Pをご参照下さい。

2 電源
ボタンを押して本体の**電源**を入れる。

3 入力切換
ボタンを押して**iPodモード**にしてください。



iPodの操作の仕方

再生/一時停止

1 リモコン 再生/一時停止 又は 本体 **ボタン**を押します。

■再生中に押すと一時停止します。再生を再開する時はもう一度押して下さい。

選択(移動)する

1 リモコン **ボタン**を押して**再生**したい**フォルダ**や**ファイル**を**選択**してください。

■再生中でも操作することが可能です。

決定する

1 リモコン 決定 **ボタン**を押して下さい。

メニューを表示する

1 リモコン メニュー/PBC **ボタン**を押して下さい。

曲をスキップさせる

1 リモコン スキップ戻り スキップ送り 又は 本体 **ボタン**を押します。

■聴きたい曲が見つかるまでスキップボタンを繰返し押します。

■再生中に ⏮ ボタンを押すと、再生中の曲が最初から再生されます。
前の曲の最初に戻るには ⏮ ボタンを2回押して下さい。

早送り/早戻し

1 リモコン スキップ戻り スキップ送り 又は 本体 **ボタン**を**2秒以上**押します。

■再生中にスキップボタンを2秒以上押し続け、聴きたい場所でボタンを離して下さい。

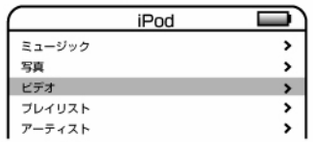
iPodの映像出力について

※映像出力に対応する機種に関しては別途5Pをご参照ください。

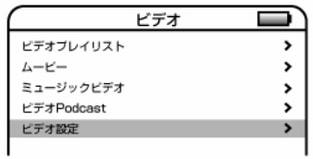
iPod内の動画をモニターに映す(iPod側での設定)

1. **トップメニュー**から**ビデオ**を選択して下さい。
2. **ビデオメニュー**から**ビデオ設定**を選択して下さい。
3. **設定メニュー**から**TV出力**を選択し、**オン**にして下さい。
4. **設定メニュー**から**TV信号**を選択し、**NTSC**を選択して下さい。
5. **設定メニュー**から**ワイドスクリーン**を選択し、**接続しているモニター**に合わせて**オン・オフ**を設定して下さい。
6. 1～5の設定が終了した状態でiPod内の動画ファイルを再生すると、接続されたモニターに再生中の動画が映ります。

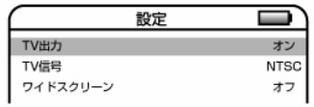
説明書番号 1



説明書番号 2



説明書番号 3 4 5

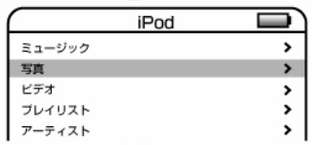


iPod内の写真をモニターに映す(iPod®側での設定)

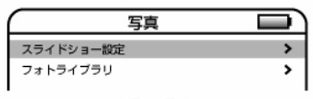
1. **トップメニュー**から**写真**を選択して下さい。
2. **写真メニュー**から**スライドショー設定**を選択して下さい。
3. **スライドショー設定メニュー**から**TV出力**を選択し、**オン**にして下さい。
4. **スライドショー設定ニュー**から**TV信号**を選択し、**NTSC**を選択して下さい。
5. 1～4の設定が終了した状態でiPod内の写真ファイルを選択し、スライドショーを開始すると、接続されたモニターに再生中の写真が映ります。

⚠注意 スライドショーモードでのみモニターに出力されます。

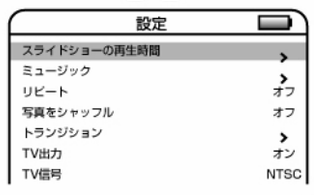
説明書番号 1



説明書番号 2



説明書番号 3 4

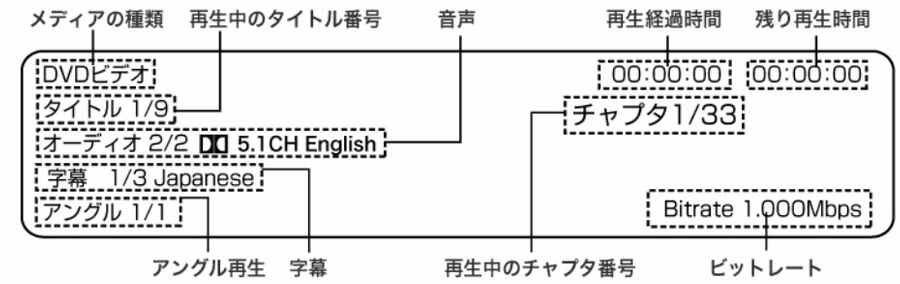


再生中のいろいろな操作

OSDを表示する

DVDビデオ

OSDボタンを1回押す。



好きな順番に再生する

DVDビデオ / VCD

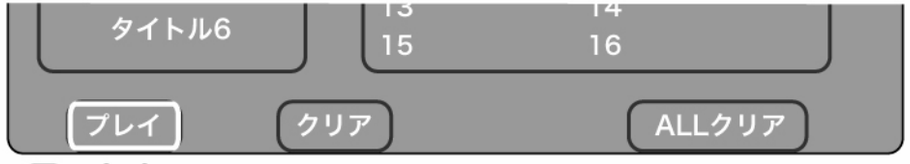
1. プログラムボタンを1回押してプログラム画面を表示します。
2. ▼▲を押して再生するタイトル番号を選び 決定 を押します。



3. ▼▲を押して再生するチャプター番号を選び 決定 を押します。



4. 2～3を繰り返し、再生するタイトル・チャプター番号を設定して下さい。



5. ◀▶を押してプレイを選択して 決定 を押すと再生が開始します。

⚠注意 プログラムをクリアする場合には選択項目より「クリア」、または「ALLクリア」を選択して下さい。

再生中のいろいろな操作(つづき)

好きな順番に再生する

CD DA / MP3 / WMA / MPEG 4



1. ▶ を押して**B項目**に移動します。
2. ▼ を押して**エディットモード**を選択します。
3. 決定 を押して**エディットモード**を**反転**させて下さい。
   ※エディットモードがONになります。
4. ◀ を押して**A項目**に移動します。
5. ▼▲ を押して**再生する曲**を選択します。
6. 決定 を押して**曲**を**決定**して下さい。
   ※決定した曲にはチェックマークが入ります。
7. 5~6 を**繰り返して**再生する曲を順に設定して下さい。
8. ▶ を押して**B項目**に移動します。
9. ▼ を押して**プログラムを作る**を選択して 決定 **ボタン**を押して下さい。
10. ▲ を押して**エディットモード**を選択して 決定 **ボタン**を押して下さい。
    ※エディットモードがOFFになります。
11. ▼ を押して**プログラムビュー**を選択して 決定 **ボタン**を押して下さい。
12. ◀ を押して**A項目**に移動します。
    ※プログラムした曲が表示されます。
13. 再生を開始する曲を選び 決定 **ボタン**を押して下さい。

⚠注意 プログラムをクリアする場合には一度電源をOFFにして下さい。

任意の区間を繰り返し再生する

DVD ビデオ / CD DA / VCD / MP3 / WMA / MPEG 4

1. A-B **ボタン**を押して**リピート開始点A**を設定して下さい。
2. A-B **ボタン**を押して**リピート終了点B**を設定して下さい。**A点−B点間**を**繰り返し再生**します。
3. A-B **ボタン**を押すと繰り返しを**解除**します。

説明番号	表示順序
1	リピートA
2	リピートA-B
3	リピートA-B オフ

再生中のいろいろな操作(つづき)

繰り返し再生する

DVD ビデオ / VCD

1. リピート **ボタン**を**1回**押すと**チャプター単位**で**繰り返し再生**します。
2. リピート **ボタン**を**2回**押すと**タイトル単位**で**繰り返し再生**します。
3. リピート **ボタン**を**3回**押すとリピート再生を**終了**します。

⚠注意 ディスクによりリピートできないものもあります。

説明番号	表示順序
1	チャプターリピート
2	タイトル-リピート
3	リピート-オフ

繰り返し再生する

CD DA

1. リピート **ボタン**を**1回押す**と**1曲単位**で繰り返し再生します。
2. リピート **ボタン**を**2回押す**と**全曲単位**で繰り返し再生します。
3. リピート **ボタン**を**3回押す**とリピート再生を**終了**します。

⚠注意 ディスクによりリピートできないものもあります。

説明番号	表示順序
1	シングルリピート
2	フォリダーリピート
3	リピート・オフ

繰り返し再生する

MP3 / WMA / MPEG 4

1. リピート **ボタン**を**1回押す**と**1曲単位**で**繰り返し再生**します。
2. リピート **ボタン**を**2回押す**と**フォルダ単位**で**繰り返し再生**します。
3. リピート **ボタン**を**3回押す**とリピート再生を**終了**します。

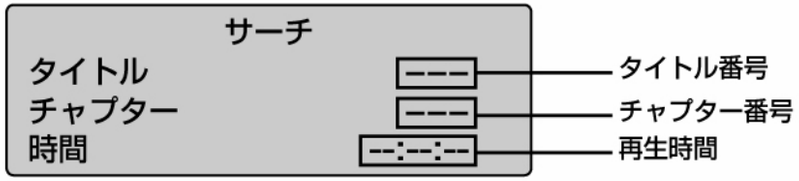
⚠注意 ディスクによりリピートできないものもあります。

説明番号	表示順序
1	シングルリピート
2	フォリダーリピート
3	リピート・オフ

再生中のいろいろな操作(つづき)

指定した位置を再生する

DVD ビデオ / VCD



1 サーチ ボタンを押して**再生位置指定項目**を表示してください。

2 ▲ ▼ を押して**再生開始位置**を**指定したい項目**に**移動**してください。

3 0 ～ 10+ を押して**再生を開始したい番号**を**入力**してください。

4 入力が完了したら 決定 **ボタン**を押して再生してください。

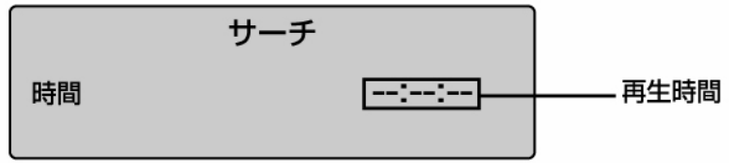
⚠注意 指定したデータが存在しない場合には機能しません。ディスクにより対応していないものもあります。

指定した位置を再生する

CD DA / MP3 / WMA / MPEG 4

1 サーチ **ボタン**を押して**再生位置指定項目**を表示してください。

MP3 / MPEG 4 / WMA



CD DA



2 ▲ ▼ を押して**再生開始位置**を**指定したい項目**に**移動**してください。

3 0 ～ 10+ を押して**再生を開始したい番号**を**入力**してください。

※フォルダが存在する場合はフォルダを選択し、フォルダ内の再生時間を指定して下さい。

4 入力が完了したら 決定 **ボタン**を押して再生してください。

⚠注意 指定したデータが存在しない場合には機能しません。ディスクにより対応していないものもあります。

再生中のいろいろな操作(つづき)

ステレオ/モノラルを切り換える

CD DA / MP3 / WMA / MPEG 4

1 ステ/モノ **ボタン**を**1回**押すと**音声出力**が**左側からのモノラル音**にかわります。

2 ステ/モノ **ボタン**を**2回**押すと**音声出力**が**右側からのモノラル音**にかわります。

3 ステ/モノ **ボタン**を**3回**押すと**音声出力**が**左右からの混合モノラル音**にかわります。

4 ステ/モノ **ボタン**を**4回**押すと**音声出力**が**ステレオ音**にかわります。

説明番号	表示順序
1	L-モノラル
2	R-モノラル
3	MIX-モノラル
4	ステレオ

⚠注意 ディスクにより対応していないものもあります。

スキップ戻る・送る

VCD / DVD ビデオ

1 スキップ戻り ⏮ **ボタン**を押すと**チャプター単位**で戻ります。

2 スキップ送り ⏭ **ボタン**を押すと**チャプター単位**で送ります。

スキップ戻る・送る

CD DA / MP3 / WMA / MPEG 4

1 スキップ戻り ⏮ **ボタン**を押すと**1曲単位**で戻ります。

2 スキップ送り ⏭ **ボタン**を押すと**1曲単位**で送ります。

再生を停止する

CD DA / MP3 / WMA / MPEG 4 / DVD ビデオ / VCD

1 ■ **ボタン**を押すと再生が**停止**します。

2 ▶II **ボタン**を押すと再生が**一時停止**します。

1コマずつ再生する

VCD / DVD ビデオ

ステップ

1 **ボタン**を押すごとに1コマずつ再生されます。

2 ▶II ボタンを押すとステップ再生が終了します。

再生中のいろいろな操作(つづき)

倍速で戻る

DVD ビデオ / CD DA / VCD / MP3 / MPEG 4 / WMA

1 戻り ◀◀ **ボタン**を押すと**倍速**で戻ります。

押した回数により戻る速度はかわります。

戻り ◀◀ 1回	戻り ◀◀ 2回	戻り ◀◀ 3回	戻り ◀◀ 4回	戻り ◀◀ 5回
2倍速	4倍速	8倍速	16倍速	通常再生

⚠注意 ディスクにより対応していないものもあります。倍速再生中には音声が出ません。

倍速で送る

DVD ビデオ / CD DA / VCD / MP3 / MPEG 4 / WMA

1 送り ▶▶ **ボタン**を押すと**倍速**で送ります。

押した回数により送る速度はかわります。

送り ▶▶ 1回	送り ▶▶ 2回	送り ▶▶ 3回	送り ▶▶ 4回	送り ▶▶ 5回
2倍速	4倍速	8倍速	16倍速	通常再生

⚠注意 ディスクにより対応していないものもあります。倍速再生中には音声が出ません。

低速で送る

DVD ビデオ / VCD / MPEG 4

1 スロー ○ **ボタン**を押すと**低速**で送ります。

押した回数により送る速度はかわります。

スロー ○ 1回	スロー ○ 2回	スロー ○ 3回	スロー ○ 4回	スロー ○ 5回
1/2倍速送り	1/4倍速送り	1/6倍速送り	1/8倍速送り	通常再生

⚠注意 ディスクにより対応していないものもあります。低速再生中には音声が出ません。

再生中のいろいろな操作(つづき)

アングルをかえる

DVD ビデオ

1 アングル ○ **ボタン**を押すと**アングル**が切り替わります。

⚠注意 マルチアングル機能に対応したディスクでのみ機能します。

メニュー画面を表示する

DVD ビデオ / VCD

1 メニュー/PBC ○ **ボタン**を再生中に**一回**押すと**メニュー画面**を表示します。
二回押すと元の**再生中の画面**に戻ります。

1つ前の選択画面へもどる

DVD ビデオ / VCD

1 戻る ○ **ボタン**を押すと選択する一つ前の画面に戻ります。

タイトル画面を表示する

DVD ビデオ

1 タイトル ○ **ボタン**を押すと**タイトルメニュー画面**を表示します。

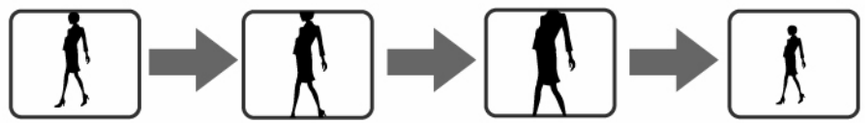
拡大して再生する

DVD ビデオ / MPEG 4 / VCD / JPEG

1 ズーム ○ **ボタン**を押すと**表示サイズ**の**拡大**を行ないます。

押した回数により表示サイズがかわります。

ズーム 1回	ズーム 2回	ズーム 3回	ズーム 4回
拡大1	拡大2	拡大3	通常表示



⚠注意 ディスクにより対応していないものもあります。

用語解説

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定の時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値比（デジタル信号化）することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

デコーダー
DVDビデオなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置のことです。この処理をデコードといいます。

ファイナライズ
録音・録画されたCD-R、CD-RWやDVD-Rなどを再生対応機で再生できるように処理すること。ファイナライズ処理が行われていないディスクは本製品では再生できません。

ビットストリーム
圧縮され、デジタル信号に置き換えられた信号です。デコーダーにより、5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコードされます。

JPEG(joint photographic Experts Group)
カラー静止画を圧縮、展開する規格の一つです。デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特徴です。

PBC
ビデオCDを再生する方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

MP3
元の音質を損なうことなく情報量を10分の1に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでDVD・CD・SDカード・USBメモリーに記録したMP3形式の音声を再生できます。

WMA
米国Microsoft Corporationで開発された音声圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルで同等の音質が実現できます。

MPEG-4
動画・音声全般をデジタルデータとして扱うための規格です。本機では、パソコンなどでDVD・CD・SDカード・USBメモリーに記録したMPEG-4形式の動画を再生できます。

CDDA
一般的なオーディオCD等に使用されているファイル形式です。この形式はビットレートが「1441kbps」に固定されています。cda形式は未圧縮音声形式なので音質を下げることなくお再生することができます。

DVDビデオ
DVDフォーラムで制定された、DVDに複数の映像、音声、字幕を記録するアプリケーションフォーマット。

仕様について

本体サイズ	幅420×奥行き265×高さ190mm	本体重量	約8.5kg	許容動作温度	0～45℃
音声最大出力	スピーカー：12W×2　サブウーファー：30W			音声周波特性	20Hz～20KHz
電　源	AC100V 50/60Hz	S/N比	70db以上	コード長さ	約1.5m
消費電力	80W	USBポート	USB1.1/2.0	テレビシステム	NTSC
信号形式	日米標準NTSC方式	映像出力	0.97V(P-P)75Ω		
材　質	MDF	S-映像出力	0.97V(P-P)75Ω(Y)　0.25V(P-P)75Ω(C)		
ラジオ受信周波数	FM：76～108MHz　AM：531～1602KHz				
音声出力	2.0V	音声出力端子	（ビットストリーム／PCM光端子）光コネクター×1/同軸出力		
対応メディア	DVD/DVD-R/DVD-RW/CD/CD-R/CD-RW/HDCD/USBメモリー/SDメモリーカード/miniSDカード（アダプタ必要）				
対応フォーマット	(DVD-Video)、(CD-DA)、(VCD)、(WMA) ビットレート:5～192kbps　サンプリング周波数:32～320khz (MP3) ビットレート:8～256kbps　サンプリング周波数:32～320khz				

故障かな？と思ったら

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

修理を依頼する前に、この表で症状をお確かめください。なお、これらの処置をしても直らない場合には購入された店舗、または「お客様サービス係」までご連絡ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処　置	参照ページ
システム全体に共通	電源が入っているのに音が出ない。	音量が0、又は消音状態になっている。	音量を上げる、又は消音状態を解除する。	26
	音の位置が定まらない	それぞれのスピーカーの出力レベルは均等ですか？	スピーカーの出力レベルを均等に設定して下さい。	26
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差し替えてみる。	—
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか。	⊕⊖を正しく入れる。	8
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	8
	他の機器のリモコンで、本機が誤動する。	当社製の機器を同時に使っていませんか。	本機と各機器の距離を離すか、各機器の電源を切る。	—
ラジオ	放送がうまく受信できない。	アンテナは接続していますか。	アンテナを接続してください。	12･13
	放送がうまく受信できない。雑音、ひずみが多い。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを使用してみる。	—
		送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみる。 屋外アンテナを使うのも一つの方法です。	12･13
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器の距離を離すか、各機器の電源を切る。	—
		近くで携帯電話を充電していませんか。		
		アンテナが電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
ディスク（DVD／CD）	テレビに映像が映らない。画面サイズがおかしい。	テレビの入力は正しいですか。	本機の接続に合わせて、テレビのビデオ入力を切り換える。	16
		映像出力設定で「テレビタイプを正しく設定しましたか。	テレビタイプを正しく設定する。	20･22
	ディスクを入れても再生されない。	規格外のディスクではありませんか。	規格と適合したディスクに取り替える。	4･7
		本機で再生できるディスクですか。	ディスクのジャケットを確認してください。	4･7
		「視聴制限」しているディスクではありませんか。	システムセットアップより「視聴制限」の項目を確かめてください。	24
		寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度変化はありませんか。	レンズ部の露つきが考えられます。約一時間待ってから使用する。	—
		ファイナライズ処理を行っていますか。	保存した機器にてファイナライズ処理をする。	—
	特定の箇所が正常に再生しない。操作してもうまく動かない。	ディスクが汚れていませんか。	柔らかい布などでふく。	4

故障かな？と思ったら(つづき)

修理を依頼する前に、この表で症状をお確かめください。なお、これらの処置をしても直らない場合には購入された店舗、または「お客様サービス係」までご連絡ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処　置	参照ページ
ディスク(DVD/CD)	音声言語、字幕言語が切り換わらない。アングルを変えられない。	再生中のディスクに、複数の言語や字幕、アングルが記録されていますか。	ディスクのジャケットを確認してください。	—
	WMA/MP3ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行なったWMA/MP3ディスクをご利用ください。	—
	ディスクトレイフタが正しく閉まらない。	———	電源を切り、電源コードを抜いた後、再び電源コードを入れ電源を入れて下さい。	—
SD/USB	操作ができない。	カードは正しく入っていますか。	カードを正しく入れてください。	17
		本機で使用できないカードではありませんか。	本機ではSDカード以外のカードには対応していません。	—
	再生できない。	録音データに著作権保護機能がかかっていませんか。	本機では著作権保護機能のかかったデータには対応していません。	—
iPod	iPodを差込めない	ドックアダプターは合っていますか。	接続するiPodに合ったアダプターを使用する。	17
		コネクタ部分に異常はありませんか。	iPodを一度本機からはずしてコネクタ部分に異常のないことを確認し、もう一度はめなおす。	—
	音が出ない	音量が0ではありませんか。	音量を上げて下さい。	26
		消音状態になっていませんか。	消音状態を解除して下さい。	26
		iPodのソフトウェアのバージョンは合っていますか。	ソフトウェアのバージョンを最新の状態にして下さい。	—
	充電ができない	きちんと接続されていますか。	iPodが認識されるように接続して下さい。	17
		主電源がOFFになっていませんか。	主電源をONにして下さい。	11
	リモコンを押しても反応しない。	———	iPodを一度本機からはずして、数分間をあけてからもう一度セットしなおす。	—
		リモコンの電池は消耗されていませんか。	新しい電池に交換して下さい。	8
	取り外し・取り付けを素早く行ったら音が出なくなった。	———	本機からiPodを取り外し、五秒以上経過してから再度取り付けて下さい。	—

Q&A(よくあるご質問)

マルチチャンネル音声を楽しむにはどのような機器が必要か	●光デジタルケーブル ●同軸デジタルケーブル　※お近くの量販店にてお買い求めください。 ●同軸デジタル端子対応AVアンプ
別の地域でも使えるか	●本機は日本国内専用で、東日本、西日本関係なく使えます。
海外で買ったDVDビデオビデオCDは再生できるか	●海外のDVDを本機で再生することはできません。 ●日本国内でのDVDソフトのみの再生となります。
映像方式がPALのディスクは再生できるか	●再生できません。(日本国内のテレビ映像方式はPALに対応していません)
ビデオに録画できるか	●ほとんどのDVDはコピー禁止処理がされており、録画できません。

保証とアフターサービス　よくお読みください

保証書

■保証書は別添付になります。

■保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。購入時の領収書も必ず保証書に添付をして下さいますようお願いします。

■保証書はよくお読みになり大切に保管して下さい。

保証期間

お買い上げ日から1年間です

オークション販売、転売については保証期間であっても保証対象外となりますのでご了承ください。

持ち込み修理品になります。

出張修理対応はしておりません。

アフターサービスについて

弊社の商品は、持ち込み修理での対応とさせて頂きます。出張での対応は一切致しません。
商品に不具合のある場合は、事前に弊社までご連絡戴きお送り頂くか、購入店にお持ち下さる様お願い申し上げます。

修理を依頼

取扱い説明書の内容をお確かめいただき、直らない場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または当社「お問い合わせ番号」までにご相談下さい。

■保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または当社の担当が修理又は、交換処理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡内容	
品　名	2.1ch iPod・DVD・ラジオプレーヤー
品　番	EPD-I041
お買い上げ日	年　月　日
故障状況	具体的に説明してください

■修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品代です。

見積代は、機器の故障原因を調べる際の手数料です。(修理キャンセル時に発生します。)

送　料は、修理時に発生する、往復の送料はお客様ご負担です。

お問い合わせ番号　☎03-3863-9066

【受付時間】　10:00～12:30　13:30～17:00　(祝祭日以外の月曜日～金曜日)

〒101-0032　東京都千代田区岩本町3-9-13　岩本町日光共同ビル2階